



第105号

石川県生活協同組合連合会

〒920-0362 金沢市古府2-189
コープいしかわ古府センター2F
TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
<http://ishikenren.jp>

発行日／2022年7月25日
発行責任者／長谷川 隆史



吉中生活安全課長



浅田専務理事



総会開催にあたり挨拶をする長谷川会長理事

●開催日時 2022年6月13日(月) 13時30分～14時30分
●開催場所 石川県労働者福祉文化会館2階ホール
●代議員出席 代議員定数32名、出席代議員数32名
(実出席4名、書面議決28名)

石川県生協連 第57回 通常総会

第57回通常総会は昨年に続き、新型コロナウイルス感染防止のため、議場を縮小し議事運営を短縮化して実施しました。

今年度は来賓として石川県生活環境部生活安全課長吉中雅人氏にご出席いただき、総会の盛会を祝し、ご挨拶をいただきました。

浅田晋一専務理事より第1号議案「2022年度活動方針・予算決定の件」、第3号議案「役員補充選任の件」、第4号議案「役員報酬決定の件」について提案がされ、全議案可決承認されました。

なお、生協連の理事としてご尽力いただいた安部友美氏が退任し、新たに本山直美氏が理事に選任されました。

(生協連 加藤 喜美子)



新しく理事に就任した
本山直美 氏



退任挨拶をする
安部友美 氏



議場の様子

特集

会員生協総(代)会

県内会員生協の総代会が5月、6月に開催されました。今年もコロナ禍での開催となり、規模を縮小するなど感染予防対策が取られました。

*石川県勤労者共済生協総代会は7月29日開催

大学の活動方針に合わせて、実出席は希望者の定員制として総代に案内しており、書面参加が中心となりました。総代総数178名中、本人出席は議長を含めて2名、書面議決が162名でした。また、オンライン形式での傍聴参加を受け付け、合計18名が傍聴しました。

他方、総代から意見を気軽にのぞむため、事前に総代意見交流会を開催しました。学生・院生を対象とした交流会は対面で2回開催し、合計10名の総代の参加がありました。生協食堂・購買へのご意見や、昨年度



(金沢大学生協 井上 美紗子)

金沢大学生協 2022年度通常総代会

2022年5月19日(木)
角間キャンパス北福利食堂

実施した組合員還元企画への感想や要望などを直接お聞きしました。教職員総代へはオンライン意見交換を行い、2名の教員から意見をお聞きしました。

大学生協事業連合 第4回通常総会

2022年5月28日(土)
大学生協杉並会館地階会議室

大学生協事業連合の第4回通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決での開催。代議員総数191会員191名。本人出席3名、書面による出席184名、計187名。定款一部改正、会員規約、役員選挙規約の一部変更、監事監査規則一部変更など、全8議案が可決されました。

オンラインでの意見交流会をおこない、当日、6名からの発言、事前

（以下略）
(大学生協事業連合 長島 安永)

理事長・代表理事
井内 善臣（兵庫県立大学名誉教授）
専務理事・代表理事
樽井 美樹子（員外）
常務理事
野尻 郁智（関西北陸地区業務統括）
他7名

石川工業高等専門学校生協

第20回通常総代会

2022年5月21日(土)
石川高専生協食堂

昨年同様ではありますが、今回も新型ウイルス感染防止対策の下、書面議決を中心とした開催となりました。総代数115名中、出席総代数は106名で、その内訳は本人出席4名、委任出席0名、書面議決は102名でした。議案については昨年に続き、今年も定款の一部改正や、「日本コープ共済生活協同組合連合会」への加入承認など、例年以上に重要な議案が含まれました。

議案自体は賛成多数で無事承認されました。来年度はコロナ前のような大きな会場で、総代の実出席が多くなることになります。

（石川高専生協 谷口 修）

谷口 修
石川高専生協
理事長からの議案提案の様子

コーピーしかわ

第23回通常総代会

2022年6月15日(水)

石川県地場産業振興センター会館

金沢医療生協

第31回通常総代会

2022年6月19日(日)

石川県青少年総合研修センター

総代総数100名中、本人出席19名、書面出席80名の参加で行われました。全議案が賛成多数で可決承認されました。今年もコロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決中心の規模を縮小しての開催となりました。2021年度の活動は、発熱患者対応の継続、PCR検査の実施、新型コロナワクチン接種等に取り組みました。今年度は補助金の助けもあり、黒字決算となりました。

(金沢医療生協 柴原ひろみ)



第23回通常総代会は、書面議決を含む385名の総代が参加しました。コロナ禍で迎える3回目の総代会となり、今年も総代と役職員の安全を最優先に開催規模を縮小しての議事運営となりました。総代へ議案説明を行う春の総代会議もオンラインや動画視聴など参加方法を選べる運営とし「画面越しでも交流ができるよかったです」などの感想をいただきました。議案につ

いては「声の循環の取り組みは組合員を大切にしてくれて

いると感じます」など286名の総代から声を寄せました。

これからも組合員の声を出発点に一人ひとりの意見が大切にされる総代会議総代会をすすめていきます。

(コーピーしかわ 東野 良晴)



石川県学校生協

第74回通常総代会

2022年6月21日(火)

金沢市ものづくり会館

新型コロナウイルスの感染者数が、今現在もメディアを通じて伝えられ、その終息がいつになるのかわからない状況です。石川県民割やGOTOイートなどのサービスが再開され、人々の外出機会が増えました。そのような状況の中、第74回通常総代会を3年ぶりに実出席を基本とし、金沢市ものづくり会館で開催しました。学校生協の運営に対し厳しい意見もありました。

総代総数100名中、本人出席19名、書面出席80名の参加で行われました。全議案が賛成多数で可決承認されました。今年もコロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決中心の規模を縮小しての開催となりました。2021年度の活動は、発熱患者対応の継続、PCR検査の実施、新型コロナワクチン接種等に取り組みました。今年度は補助金の助けもあり、黒字決算となりました。

(金沢医療生協 柴原ひろみ)

昨年同様、今年度の通常総会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため運営規模を縮小しての開催となりました。代議員定数35名に対し35名(実出席4名、書面議決出席31名)の出席で行いました。開会にあたり、竹生理事長の挨拶の後、第1号議案から第4号議案までを提案し全議案可決決定しました。

総会終了後の第1回理事会において、代表理事2名の選定と役付理事の通りです。

代表理事 理事長 大谷 学
副理事長 小泉 謙一
副理事長 松宮 幹雄
代表理事 専務理事 檜原 弘樹
常務理事 常務理事 堀口 亮一



新型コロナウイルスの感染者数が、今現在もメディアを通じて伝えられ、その終息がいつになるのかわからない状況です。石川県民割やGOTOイートなどのサービスが再開され、人々の外出機会が増えました。そのような状況の中、第74回通常総代会を3年ぶりに実出席を基本とし、金沢市ものづくり会館で開催しました。学校生協の運営に対し厳しい意見もありました。

代会となりました。今後も組合員の仕事や生活をサポートするためのライフパートナーをめざします。

(石川県学校生協 宮田 正武)



ましたが、激励のお言葉もたくさんいただき、活気ある総

代会となりました。

また。

今

後も組合員

の仕事や生

活をサポー

トするため

のライフケ

ーントナーを

めざします。

ました。

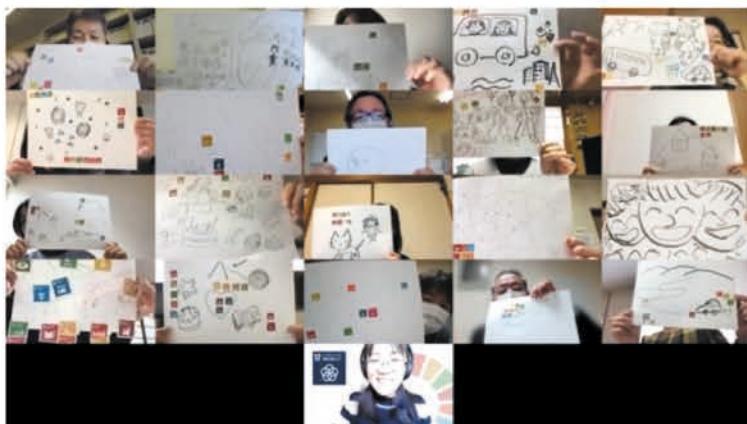
た。

ま

た。

が

ま



参加者のミライを描いた絵

講師の野吾さん（中央下）

「SDGsで解決する社会の課題とあなたの「ミライ」をテーマにSDGs×ミライデザインキャリアコンサルタント野吾奈穂子氏を講師にお迎えし、会員生協より20名が参加して開催しました。

将来どんな自分でいたいか自分のミライの絵を描き、SDGsのアイコンをひもづける。今自分がどう行動すればよいか見えてきて、SDGsを難しく考えないで取り組むことができるることを学習しました。

参加者からは「自分のミライを考えることで分かりやすくとらえることができました。こうだつたらいいながら逆算して考えると課題や必要なものが見えてきて分かりやすいと思いました。」と感想が聞かれました。

また、生協としての今後のSDGsについての学習や取り組みの場づくりについて考える機会にもなりました。

（生協連 加藤 喜美子）

SDGsは、国連に加盟している193ヶ国で合意した17の持続可能な開発目標です。国、人種、性別、宗教などの立場は関係なく、誰一人取り残さないというメッセージがこめられ、2030年の達成を目指しています。

今回、第4回いしかわフードバンク・ネット通常総会と記念講演に参加しましたので、その内容をお知らせします。

総会では、2021年度の活動として、コロナ禍が長期化する中で、食品メーカーからの季節を外れた食品、在庫調整品、一般企業の災害備蓄品の入れ替えなどさまざまな相談が寄せられたことや消費者団体やセミナーなどの講演依頼が増え、フードバンク・フードドライブ活動の周知を図ることができたなどの報告がされました。

また、総会後に引き続き石川県立大学講師楠部氏より「食品ロスと環境問題」と題した記念講演がありました。「ごみ有料化で資源分別が求め

2021年度生協連第3回役職員研修会

●2022年3月7日(月) ●オンライン研修

第4回いしかわフードバンクネット総会に参加して

●2022年5月26日(木)

●石川県女性センター

	2021年度	2020年度
フードバンク	<ul style="list-style-type: none"> ・45企業・団体と合意書を締結 ・食品は延べ103回、約29t 	<ul style="list-style-type: none"> ・34企業・団体と合意書を締結 ・食品は延べ90回、約15t
フードドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・19窓口、総重量約8t 	<ul style="list-style-type: none"> ・15窓口、総重量約7t
提供先	<ul style="list-style-type: none"> ・85福祉団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・73福祉団体

られており、が、ごみの約80%は焼却処理されおり、生ごみはほぼ水分であるため、自燃するまでにエネルギーが必要となる。焼却という点では、「生ごみ」を減らすことが重要になる」との指摘は興味深いものでした。まだ、食べられるのに捨てられるてしまう食べ物、そして、その食べ物に含まれる「水の量」についてどこまで意識をしてきたでしょうか。

（専務理事 浅田 晋一）

コーピーいしかわ3店舗目の「コーピーこまつ」がオープンしました。オープン3日間で7,200人を超える来店者で賑わい、順調なスタートを切ることができました。

開店に向けては、「コーピーこまつNEWS」を計7回発行し、準備の進捗状況や品揃えなどを動画も交えてお伝えしてきました。NEWSに設けたメッセージ欄では、新店への期待や品ぞろえ要望を多くの組員からいただきました。また、新たに3,000名を超えるご加入があり、新たなつながりも生まれています。

これから組合員と地域の皆さんにとつて「コーピーこまつ」がお買い物だけでなく、気軽に立ち寄っていただける地域の居場所となるように、組合員と役職員が力を合わせて「コーピーこまつ」を育てていきたいと思います。

(コーピーいしかわ 坂本 和代)



コーピーこまつ
NEWS

●コーピーいしかわ

コーピーこまつ開店

5月20日(金)、小松市白江町に「コーピーいしかわ3店舗目の「コーピーこまつ」がオープンしました。オープン3日間で7,200人を超える来店者で賑わい、順調なスタートを切ることができました。

開店に向けては、「コーピーこまつ

NEWS」を計7回発行し、準備の進捗状況や品揃えなどを動画も交えてお伝えしてきました。NEWSに設けたメッセージ欄では、新店への期待や品ぞろえ要望を多くの組員からいただきました。また、新たに3,000名を超えるご加入があり、新たなつながりも生まれています。

これから組合員と地域の皆さん

にとつて「コーピーこまつ」がお買

い物だけでなく、気軽に立ち寄ってい

ただける地域の居場所となるよう

に、組合員と役職員が力を合わせ

て「コーピーこまつ」を育てていきた

いと思います。

(コーピーいしかわ 坂本 和代)

これから組合員と地域の皆さんにとつて「コーピーこまつ」がお買い物だけでなく、気軽に立ち寄っていただける地域の居場所となるよう組合員と役職員が力を合わせて「コーピーこまつ」を育てていきた

いと思います。

2. 大切にしたこと

開発にあたり、「お若い方からご高齢の方までストレスなく直感的に使えること」、「組合員の声・意見に基づくこと」を大切にしました。組合員1,500名にアンケートを実施し、その意見をもとにイラストを用いた大きなメニュー ボタンを設置、良くな

いと思います。

(コーピーいしかわ 坂本 和代)

がすすめられました。

「コーピー北陸の会員生協（とやま生協、コーピーいしかわ、福井県民生協）にご参加いただき、アプリ開発のプロジェクトチームが立ち上がったのが、2021年2月。それから議論を重ね、2022年3月に「COOP宅配アプリ」をリリースすることができました。

1. 開発の目的と経過

「COOP宅配アプリ」は、注文はもちろんのこと、役に立つお知らせが届いたり、便利な照会機能があったりと、組合員の宅配利用を総合的にサポートするアプリとして開発

がすすめられました。

「COOP宅配アプリ」は、注文はもちろんのこと、役に立つお知らせが届いたり、便利な照会機能があ

ります。

「COOP宅配アプリ」は、注文は

もちろんのこと、役に立つお知

らせが届いたり、便利な照会機能があ

ります。

「COOP宅配アプリ」は、注文は

もちろんのこと、役に立つお知

県生協連活動日誌

- 4**
- 4月 5日 第5回三役会▶Web会議
 - 4月 5日 臨時理事会▶Web会議
 - 4月 5日 石川県統一メーデー実行委員会 (Web参加)
▶フレンドパーク石川
 - 4月 7日 いしかわフードバンク・ネット第1回運営委員会
▶フレンドパーク石川
 - 4月 8日 第1回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 4月13日 日本生協連2030年ビジョン第2次中期方針
事前学習会▶Web会議
 - 4月18日 消費者支援ネットワークいしかわ第1回理事会
▶金沢市女性センター
 - 4月26日 いしかわフードバンク・ネット理事会
▶石川県社会福祉協議会
 - 4月27日 第3回監事会(期末監査)▶古府センター会議室
 - 4月27日 JCA担当者学習会▶Web会議
- 5**
- 5月 1日 石川県統一メーデー▶いしかわ四高記念公園
 - 5月 2日 役員推薦委員会▶古府センター会議室
 - 5月 9日 石川県防災総合訓練第1回打合せ会議
▶川北町文化センター
 - 5月10日 第1回労福協理事会▶フレンドパーク石川
 - 5月11日 第7回理事会▶Web会議
 - 5月13日 東海北陸生協県連協議会▶静岡
 - 5月19日 MCA無線訓練
 - 5月21日 消費者支援ネットワークいしかわ総会
▶石川県女性センター
 - 5月23日 第2回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 5月24日 第1回企画運営委員会▶Web会議
 - 5月24日 第1回広報委員会▶Web会議
 - 5月25日 石川県農業活性化協議会▶石川県農業会館
 - 5月26日 いしかわフードバンク・ネット総会
▶石川県女性センター
 - 5月29日 はだしのゲンをひろめる会総会
▶保険医協会会議室・書面表決で出席
 - 5月31日 第6回三役会▶Web会議
- 6**
- 6月13日 生協連第57回通常総会、第1回監事会
▶フレンドパーク石川
 - 6月16日 石川県ユニセフ協会理事会▶県地場産業振興センター
 - 6月17日 日本生協連第72回通常総会▶書面表決で出席
 - 6月20日 労福協第61回通常総会▶フレンドパーク石川
 - 6月28日 第2回企画運営委員会▶Web会議
- 7**
- 7月 1日 第3回いしかわフードバンク・ネット運営委員会
▶さわやかU
 - 7月 4日 第100回国際協同組合デー記念中央集会▶Web研修
 - 7月 6日 第1回理事会▶Web会議
 - 7月 6日 北陸農政局 事前説明会▶コープいしかわ
 - 7月11日 労福協事業団体連絡会▶フレンドパーク石川
 - 7月12日 石川県消費者大会第1回実行委員会▶Web会議
 - 7月13日 消費者支援ネットワークいしかわ第1回消費者部会
▶金沢市女性センター
 - 7月15日 金沢市長 村山卓氏表敬訪問
 - 7月15日 第3回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 7月26日 石川県知事 駒浩氏表敬訪問
 - 7月27日 石川県防災総合訓練第2回打ち合わせ会議
▶石川県地場産業振興センター
 - 7月27日 労福協第3回理事会▶石川県地場産業振興センター
 - 7月28日 いしかわ食育推進会議▶延期
 - 7月28日 関西地連運営委員会、県連活動推進会議▶Web会議
 - 7月29日 石川県食品安全安心対策懇話会▶事業所視察

私のオススメの一冊



「あんなに あんなに」

ヨシタケ シンスケ 著

私のおすすめの一冊は、ヨシタケシンスケさんの「あんなに あんなに」です。

1ページ目から「そう! そう!」と自分の子供が幼かった時の思い出と重なり、ページをめくるたびに一緒だと引き込まれてしまいます。登場人物のイラストの表情にクスッと笑ったり、ほっこり癒される大人のための絵本だと思います。

前半は笑ったり癒されますが、後半になるにつれ、違った感情が沸き起こってきます。

「あんなに あんなに」と繰り返される言葉と優しいタッチのイラストを見ているうちに自分の子供の時の記憶も蘇り、母親もこんなふうに感じていたのかな、といろいろな感情に包まれます。

毎日の生活の中で心が疲れた時や、子育てで余裕がなくなりかけている時に読むと優しい気持ちで自分の子供と向き合おうと思える一冊です。ぜひ読んでみてください。

石川県勤労者共済生協 赤松 智代

編集後記

コロナ禍の長期化や気候変動に伴う自然災害や異常気象に加え、長引くロシアのウクライナ侵攻によって、小麦などの穀物の価格高騰に拍車がかかり、食料供給をめぐるリスクと持続可能な食料システムへの国際的な関心が高まっています。

このような状況の中で、2020年度の日本における食料自給率は37%と過去最低の水準となっており、県内の生産者を支え、食料自給率を強化していくことがますます重要となっています。

これからも皆さまの不安や関心に寄り添い、暮らしと社会の未来を考える学びの場づくりをすすめ、皆さんと一緒に持続可能な社会づくりに向け力を合わせていきたいと思います。

専務理事 浅田 晋一